

日本天文学会 1963 年春季年会

プ ロ グ ラ ム

◇日 時 昭和 38 年 5 月 16 日 (木), 17 日 (金), 18 日 (土)
◇場 所 東大医学部総合中央館 3 階

	午 前 (9時より)	午 後 (1時より)	夜
16 日 (木)	研 究 発 表	研 究 発 表	
17 日 (金)	研 究 発 表	研 究 発 表	懇 親 会
18 日 (土)	研 究 発 表	シ ン ポ ジ ウ ム	

- ★ 第1日午前、午後、および第2日午前は2会場に分けて並行して行ない、第2日午後、第3日午前は1会場とします。
- ★ 講演数が多いので、お申込みの所要時間を減らしたのがあります。御諒承下さい。
- ★ 16日正午より評議員会、17日正午より総会、18日正午より理事会を開催します。
- ★ 会場はいずれも東大医学部総合中央館3階。総合中央館は赤門から入ると医学部本館の東裏手にあたり、竜岡門から入ると最初の十字路の左手にある。

シ ン ポ ジ ウ ム

5 月 18 日 (土)

- I. 石田 憲一: 小宇宙研究の 2, 3 の問題…………… 90 分
- II. 寿 岳 潤: 星の進化…………… 90 分

講演予稿集について: 特別会員には1部ずつ無料で配布しますが、その他の方および特別会員で2部以上希望される方は1部につき実費50円、送料10円をお送り下さい。年会講演の当日会場でもおわけします。

第 1 日 5 月 16 日 (木)

第 1 会場

[午前] (9時より)

- 分
- A. 1. 後藤常男 (緯度観測所): VZT 観測室南北垂直面日射量差と室内屈折の関係……………12
 2. 村上源吉 (//): 水沢 PZT 観測の観測誤差について……………12
 3. 弓 滋, 須川 力 (//): I. P. M. S. における 1962 年の極運動につ
いて (I)……………12
 4. 須川 力 (//): I. P. M. S. における Common Z について……………10
 5. 高木重次 (//): Control latitude による Z 項……………10
 6. 高木重次, 角田忠一 (//): PZT, Astrolabe による時刻観測から求めた
極運動……………15
 7. 関口直甫, 根道文子 (東京天文台): 気圧配置による地球の慣性主軸の移動……………4
 8. //, // (//): 極位置未来値推定法……………4
 9. 角田忠一 (緯度観測所): 角運動量論による地球回転運動の近似……………10
 10. 松本惇逸 (東京天文台): 堂平山の極望遠鏡……………7
 11. 虎尾正久, 吉成正男, 嵩地 厚 (//): PZT の電接装置について (II) ……5

[午後] (1時より)

12. 原 寿男, 深谷力之助 (東京天文台): シンクロ電機を用いた赤緯マイクロメー
ター記録装置について……………7
13. 飯島重孝, 小熊 巖, 加藤 正 (//): 精密周波数比較の一方式……………7
14. 飯島重孝, 虎尾三春, 河野節夫, 加藤亀三郎 (//): 周波数標準の安定
度と VLF による国際比較の精度……………10
15. 河野 昇, 小川原嘉明*, 霜田光一* (東京天文台, * 東大理学部): NH₃-3-2 線
周波数標準の特性 (I)……………10
16. 杉本喜一郎, 森 巧 (水路部): 1956~1961 における星食観測結果報告……………10
17. 安田春雄, 伊那辰之, 深谷力之助, 原 寿男 (東京天文台): 1962 年の月・惑星
観測と南天観測について……………7
18. 原 寿男, 深谷力之助 (//): 偏光板を用いた子午環観測について……………5
19. 古在由秀 (//): 人工衛星の観測から求めたゼオイド……………10
20. 後藤 進, 植前繁美 (緯度観測所): 恒星視位置を求める際の一注意……………10
21. 虎尾正久, 新美幸夫 (東京天文台): 恒星の視位置計算について……………5
22. 原田健久 (国土地理院): 回転楕円体における長距離測地線の始点の位置を知っ
て終点の位置を求める問題の厳密解……………5
23. 堀 源一郎 (東大理): 離心率での展開をさけた衛星運動論……………10
24. // (//): 人工衛星の運動における太陽輻射圧と地球の形状による
レゾナンスの問題 (II)……………10
25. 古在由秀 (東京天文台): 月衛星の運動……………10

第 2 会場

[午前] (9時より)

	分
B 1. 古畑正秋, 下保 茂 (東京天文台): ヘルクレス座新星の観測	7
2. 近藤雅之 (//): Nova Her 1963 のスペクトルについて	10
3. 大沢清輝 (//): 三色測光用フィルターの透過幅について	5
4. 大沢清輝, 西村史朗, 成相恭二* (東京天文台, *東大理): HD 30353 の変光	7
5. 成相恭二 (東大理): HD 30353 の分光測光 (I)	10
6. 大沢清輝 (東京天文台): 恒星の連続スペクトルの量的測定	10
7. 末元善三郎 (//): K_3 線の解釈について	10
8. 内海和彦 (東大理): Y CVn の赤外領域での分光解析	10
9. 藤田良雄, 内海和彦 (//): 炭素星の赤外域スペクトルの比較研究 (II)	10
10. 藤田良雄, 山下泰正, 上条文夫, 辻 隆, 内海和彦, 中村弥栄子 (//): 低温度星の比較研究 (III)	10

[午後] (1時より)

11. 成相恭二 (東大理): HD 25878 のブランケットティング効果	10
12. 小暮智一 (京大理): V 444 Cyg のスペクトルについて	5
13. 一柳寿一, 竹内 峯 (東大理): β Cep 型変光星の脈動定数について	7
14. 北村正利 (東京天文台): 食変光星の光度曲線の数値的積分変換によるその要素解析法	15
15. // (//): 2, 3 の食変光星の周縁減光係数について	5
16. 上野秀夫 (京大理): 有限大気 of 非定常散乱関数について	8
17. 加藤正二 (東大理): 乱流から発生した音波による大気 of 速度場	8
18. // (//): 振動と乱流との相互作用による音波 of 発生	8
19. 大崎 徹 (京大理): 音波と輻射とによる温度ふらつきの smoothing	7
20. 大崎 徹, 小暮智一 (//): 電離を伴う衝撃波 of 伝播について	7
21. 海野和二郎 (東大理): 吸収線 of 毛布効果	10
22. // (//): 多重線法による彩層線幅 of 決定について	10
23. 辻 隆 (//): 星 of 大気における分子 of 解離平衡 (多原子分子 of 組成)	10
24. 上条文夫 (//): 赤色巨星周辺空間における固体粒子 of 生成	7
25. 尾崎洋二 (//): He-burning 星 of 進化	10
26. // (//): 縮退した星 of エントロピーと温度変化について	7

第 2 日 5 月 17 日 (金)

(午前のみ 2 会場にわけ, 午後は 1 会場)

第 1 会場

[午前] (9時より)

	分
C 1. 芝原録一, 吉田淳三* (竜谷大学, *岐阜医大): 三体問題 of 有界条件	10
2. 宮原 宣 (水路部): 四体問題 (主として梯形解) に就いて	12
3. // (//): 二重正三角解に就いて	10
4. 今川文彦 (京大理): 散開星団 of 分布と光度函数	7

	分
5. 清水 疆, 高橋 清* (京大理, *和歌山大): 近距離星の運動学的性質	10
6. 劉 彩品 (東大理): ポテンシャル V_H に基づいたポットリナー図の高速度星への応用	10
7. 堀 源一郎 (//): 銀河面内の星の運動	7
8. 堀 源一郎, 劉 彩品 (//): Dispersion Orbits について, および運動星団について	10
9. 堀 源一郎 (//): 質量の中心集中度が時間と共に変る場合の星の運動	10
10. 大脇直明, 松波直幸* (水路部, *東京天文台): 銀河中心核による潮汐力の球状星団に及ぼす影響 (I)	10
11. 伊藤周宮子, 小暮智一 (京大理): 銀河系外星雲の輝線スペクトル	7

第 2 会場

[午前] (9時より)

	分
D 1. 村山定男, 中村忠晴*, 山田幸男**, 村上正弘** (国立科学博物館, *早大, **明石製作所): X線マイクロアナライザーによる流星塵の検討	7
2. 森久保 茂, 支倉雅子 (宮城県第一女子高校): 流星塵の研究	10
3. 下村繁勝: 彗星の実体と成因の一考察	10
4. 宮本正太郎 (花山天文台): 火星の雲と大気の大循環について	10
5. 海老沢嗣郎: 火星暗色部の永年変化について (附) 日本における惑星研究の諸問題	15
6. 吉崎 渉 (大分大): Thermal Control of the Equatorial F ₂ Region and Midnight Behavior of [OI] 6300 Airglow.	10
7. 市村喜八郎 (岡山天体物理観測所): 天体分光写真のための新乾板および新現像液の特性について	5
8. 高須芳雄, 吉田庄一郎 (日本光学工業): 乾板校正用分光器	12
9. //, // (//): 自記マイクロフォトメーター	12
10. 秦 茂 (東京天文台): 光電子パルス計数による恒星測光装置の試作	7
11. 松丸 勝 (防衛大理工学研究科): 1963~64 年度における宇宙空間用電子観測装置を用いる観測計画の概要	10

[午後] (1時より)

E 1. 海野和三郎, 下田真弘 (東大理): 星間雲における乱流の発達	10
2. 高窪啓弥 (東大理): 星間雲の内部運動	7
3. 高窪啓弥, 寺内隆太郎 (//): 21 cm 波観測よりだした星間ガス雲のモデル (II)	15
4. 藤本光昭 (//): 系外銀河系の Dark Lanes (I) —渦状銀河系—	10
5. // (//): 3 kpc-Arm の運動	10
6. 大谷 浩, 小暮智一 (京大理): 膨張ガス殻の電波スペクトル指数	10
7. 赤羽賢司 (東京天文台): 24 米固定球面鏡について	5
8. 田中春夫, 柿沼隆清 (名大空電研究所): 9400 Mc/s 用高分解能干渉計	10
9. 高倉達雄 (東京天文台): 太陽電波 I 型バーストの発生機構について	10

	分
10. 甲斐敬造 (東京学芸大): IV 型バーストの偏波 (I)	10
11. 河鱒公昭, 内田 豊* (東京天文台, *東大理): IV 型バーストの発生機構	10
12. 守山史生 (東京天文台): レーダーによる太陽の観測について	10
13. 河鱒公昭 (//): フレアの時のコロナのモデル (II)	10
14. 内田 豊 (東大理): 太陽の彩層とコロナの理論的モデルについて	10
15. 鈴木利和, 平山 淳 (東京天文台): コロナ・コンデンセイションの温度	7
16. 大脇直明, 鰻目信三* (水路部, *東大理): 1962 年 2 月 5 日の日食におけるコ ンデンセイション	10

第 3 日 5 月 18 日 (土)

[午前] (9時より)

	分
F 1. 浜名茂男, 深津正鏞 (東京天文台): 太陽黒点領域のフレア発生数とアクティブ・ フレアを含む割合について	5
2. 辻村民之 (生駒山太陽観測所): IGY, IGC 年間の solar activity について	7
3. 長沢進午, 大城義名, 清水一郎 (東京天文台): 乗鞍コロナ観測所の K コロナメ ーター (II)	7
4. 西 恵三, 中込慶光 (//): K コロナメーターの観測結果と太陽面現象 との関係について	10
5. 山口喜助 (//): 極附近の紅炎と緑色コロナ強度との関係	7
6. 川口市郎, 富永 進, 久保田 淳, 椿 都生夫 (花山天文台): 内部コロナの測 光結果について	5
7. 平山 淳 (東京天文台): 日食で撮れた紅炎のスペクトル	7
8. 川口市郎 (花山天文台): 紫外線のプロミネンスに及ぼす影響 (I)	7
9. 椿 都生夫, 神野光男 (//): 紅炎における中性酸素線の強度比につい て	5
10. 富永 進, 神野光男 (//): 太陽紅炎の非均質モデル	10
11. 川口市郎, 富永 進, 久保田 諄 (//): 1962 年ラエ日食の彩層スペク トルについて	5
12. 鈴木義正 (京都学芸大): 黒点の太陽周辺側に見られる明るい縁について	7